

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 避難訓練は年二回、行っているがホームのご利用者様と職員で参加しているがご家族や地域の方、消防署の方々の参加はされてない状況である。	年1回は、外部の方の参加のご協力をいただく	感染症等が落ち着いている時期に、外部の方のご参加をしていただける様、発信する。	6ヶ月
2	6	○身体拘束をしないケアの実践 現状では、身体拘束を行っていないが「個別の身体拘束しないケア」、安全確保しながらの取り組みを検討する。	定期的に身体拘束適正化委員会を開催しその都度、課題に取り組む	職員会議で、身体拘束適正化委員会を開催し課題に取り組み、継続する。	6ヶ月
3		○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画のサービス内容の支援方法と日々の記録とで一貫性の取れる記録とすること。	各種記録を見直し、支援方法を常に確認できるようにすること	職員会議等で、支援方法を共有しながら各種記録について、検討していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。